

科目名	企業実習	JABEE科目	科目コード 142
-----	-------------	---------	--------------

学年・学科等名	4 学年	機械システム工学科	選択科目
単位数・開講期	1 単位		
総時間数	30 時間		
担当教員	江頭 竜		

本校の教育目標	2	機械システム工学科の教育目標	5
---------	---	----------------	---

JABEE関連	教育プログラム科目区分	304専門工学科目④実務対応系
	教育プログラムの学習・教育目標	B-2(10%) D-1(20%) E-3(70%)
	JABEE基準	adh

教科書名	なし
補助教材	各受入先での資料等
参考書	

A. 教育目標

企業等における就業体験を通じ、技術者として果たすべき責任感の涵養、職業意識の高揚、及び学習意欲の喚起を図る。

B. 概要

学校で修得した専門に関する知識・技術を活かすために、企業等の現場において問題意識を持って実務訓練を行う。

C. 学習上の留意点

- ・受入企業等の事業内容を事前に承知しておくとともに、企業実習の趣旨・目的を把握しておくこと。
- ・企業実習は受入企業等の多くの人達の協力によって実現できることを肝に銘じ、実習生としての責任を十分自覚し、その言動に責任を持つとともに、礼節を守ること。

D. 評価方法

受入先での評価結果(40%) レポート等(60%)にて評価する。

E. 授業内容

授業項目	時間	内 容	教 育 プログラム
実習期間	30	夏期休業期間中に5日間以上	B-2, D-1, E-3
実習希望から企業の受入		・担当教員による実習希望の取りまとめ ・担当教員による実習企業の割り当て	
実習内容とテーマ		・実習テーマを決め、指導教員の指導を受ける	
企業実習期間中		・就業規則等の遵守 ・実習先担当者の指示に従うこと ・事故に遭遇しないよう細心の注意する ・実習後は礼状を出す	
実習報告書		・実習終了後、指導教員へ実習報告書を提出する	
企業実習証明書		・実習受入企業から学生の実習状況について、企業実習証明書を学校へ提出する	

F. 関連科目

機械システム工学実験Ⅰ、機械システム工学実験Ⅱ、卒業研究